

平成 29 年度 しのぶ育英奨学金受給生からの言葉

人間発達文化学類 4 年

福島県内の特別支援学校小学部の教員採用試験を受験するため、小学校全科と教職教養、マット運動やピアノの実技、面接や討論、小論文、模擬授業の対策を行いました。また、教員採用試験の対策と並行し卒業研究を進めました。先行研究を読みとりながら、自分の卒業研究の目的を再度考えました。

教員採用試験後は、教職実習演習の授業を通して、学生最後の実習を行いました。この実習で、子供たちとのかかわり方や授業づくりだけでなく、先生方の仕事内容や空き時間の使い方などに着目することで、以前より教員の仕事について具体的に学ぶことができました。また、卒業研究を通して、今後自分がどのような教員になりたいのか自分の考えを整理することもできました。

人間発達文化学類 3 年

しのぶ育英奨学金をいただいたことで、自分の学習に真剣に向き合うことができ、充実した 1 年間でした。私は小学校、中学・高校の音楽、特別支援の教員免許の取得を考えており、それに加えて興味がある幼児教育に関する授業も今年度は履修し、様々な発達段階の育ちや教育方法を学ぶことができました。

特別支援学校でのボランティア活動では、授業で学んだことと実際の子どもの様子を結びつけて考えることができました。子どもたちとの関わりの中で戸惑うこともありましたが、それも学びのひとつとなり、また、保護者との関わり方や教師同士の関わり方など、学校ではなかなか学べないことについてもお話を頂くことができ、実際の現場にいるからこそ多くのことを考え、学ぶことができました。

人間発達文化学類 3 年

これまでは毎日アルバイトに重点を置き、勉強する時間はほとんどありませんでしたが、しのぶ育英奨学金受給により、毎日勉強と真剣に向き合うことができました。3 年時は英語も専門科目と教育分野の科目を多く履修し、しっかり極めることができました。教育実習では学んだことを生かし、英語科の代表として皆の先頭に立ち、研究授業を行いました。TOEIC 受験では、目標としていた 700 点を超える点数を取ることができました。今後も継続していき、TOEIC では 800 点、英検は準 1 級の取得を目指していきたいです。

人間発達文化学類2年

私は小学校・中学校・高校すべての教員免許を取得したいと考えています。しのぶ育英奨学金をいただけたことで、勉強をする時間をしっかりと確保することができ、単位を落としたり成績が大幅に落ちたりすることなく、学習に励むことができました。また、TOEICを受け、今の自分の英語の力を図ることができ、他にも TOEFL や英語以外の検定も受けてみたいと意欲が沸きました。

今後もひとつひとつの授業での学びを大切にしたいです。さらに、3年生では教育実習や介護等体験など実習もあるため、授業で学んだことを生かし、将来に繋げていきたいと思えます。また、私は英語科の免許を取得したいと考えており、留学にも関心を持っているので、英語力の向上を図るとともに、さまざまなことに挑戦していきたいと考えています。

経済経営学類2年

簿記1級の試験合格を目標に、毎日勉学に励んでおります。「簿記の基本である財務諸表が企業の経営状態を明白にさせ、経営を行う上で重要になってくる」ということが2年間における簿記の学習を通し、特に印象に残っています。しのぶ育英奨学金をいただいたことで、高くて購入をためらっていた専門書を購入することができ、勉強にもより身が入り、勉強以外の社会経験にも視野を広げることができました。

私は将来、中小企業の支援を主な業務とする信用金庫で働くことで、地域活性化に貢献したいと思っています。簿記の学習を通して、企業における資金の重要性を感じ、融資という形で企業の可能性を引き出せる金融業に興味を持つようになり、私自身も地元企業活性化のために貢献したいと考えるようになりました。2年生から学んでいた管理会計論、原価計算論、会計監査論などを継続して勉強し、今後は専門的な知識だけでなく、実社会に出て会計上の様々な問題を解決する際に必要な力も身に付けていきたいと考えております。

共生システム理工学類2年

しのぶ育英奨学金受給により、1年時よりもさらに集中して学習に取り組んでいます。授業の欠席は全くなく、単位も全てしっかり取ることができました。教授に直接質問したり、先輩に聞いたりすることで専門性や難易度が増してきた学習にも理解を深めることができます。

今後は資格取得に向けた勉強も進めていきたいと考えています。マイクロソフト オフィス スペシャリストや基本情報技術試験、応用情報技術者等の資格取得に積極的にチャレンジしていきたいです。